

2017年4月17日

【ニュースレター】

ゴールデンウィークの空き巣対策

今年のゴールデンウィークは、5/1と5/2を休むと9日間の大型休暇

旅行や行楽に出かける人は、戸締りはもちろん、外出前に改めて自宅の防犯対策のご確認を！

外出中のSNS投稿は、空き巣に留守を教えるようなもの。投稿は帰宅後に！！

ゴールデンウィークなどの大型連休の時期は、近距離のレジャーや買い物で終日出かけたり、旅行のために自宅を長期間留守にする人が少なくないと思います。家を留守にする機会が増えることで空き巣被害に遭わないか不安を感じている方も多いと思います。

ALSOKでは、不安を抱えている方へ防犯対策の参考にさせていただくため、ALSOK流の空き巣被害対策をまとめました。防犯企画の参考情報としてご活用いただければ幸いです。

トピックス

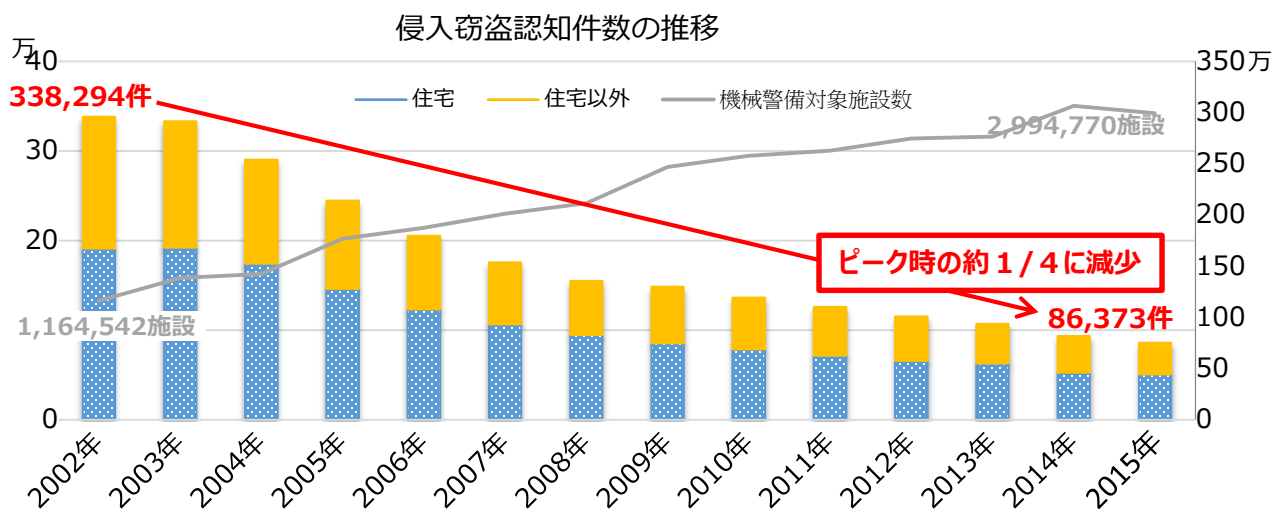
- 統計データから読み解く、侵入窃盗の傾向…………… P2
- 空き巣が標的にする家の3条件…………… P5
- 留守を悟られないための4つの対策…………… P7
- 空き巣に狙われにくくする3つのポイント…………… P8
- 空き巣対策に有効な商品・サービス…………… P9

統計データから読み解く、侵入窃盗の傾向

警察庁の統計によると、侵入窃盗の認知件数は年々減少しており、**2015年における認知件数は86,373件で、過去最多を記録した2002年（338,294件）と比較すると四分の一程度**となっています。減少の理由については諸説ありますが、ホームセキュリティなど機械警備システムが手ごろな価格になり普及がすすんだこと（機械警備対象施設数は2002年当時の約2.6倍に増加）も寄与しているのではないかとされています。

発生場所別で見ると、2015年には**全体のおよそ6割（約50万件）の侵入窃盗が住宅で発生**していました。これは、**およそ10分に1戸のペースで侵入窃盗被害が発生していた**という計算になります。

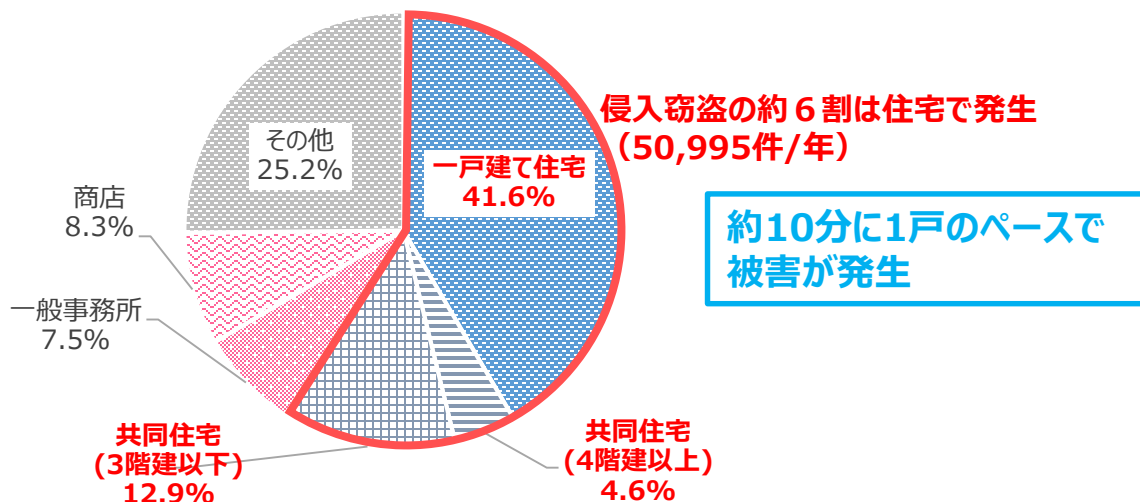
侵入窃盗の被害に遭うことになれば、家財や財産を失うことはもちろん、「悪意を持った何者かに侵入された」という事実と、「また侵入されるかもしれない」という不安から大きな精神的ショックを受けてしまいます。被害を防ぐためにも、侵入窃盗の手口や傾向を知り、適切な対策をとることが大切です。



出典：警察庁「平成23年の犯罪情勢（2012年）」、「平成26、27年の犯罪情勢（2016年）」
および、警察庁「平成14年～平成28年における警備業の概況（2003年～2016年）」を基に作成

2015年は、1日あたり約240件の被害が発生

侵入窃盗 侵入場所別認知件数（2015年）

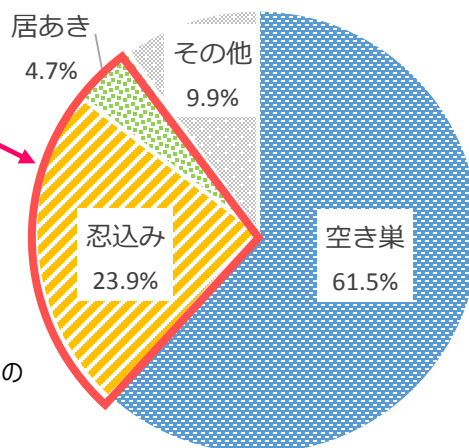


出典：警察庁「平成27年の犯罪（2016年）」より

■ 住宅における侵入窃盗の実態と防犯対策

住宅で発生した侵入窃盗の手口別認知件数
(2015年)

**在宅時の侵入窃盗は
全体の3割**



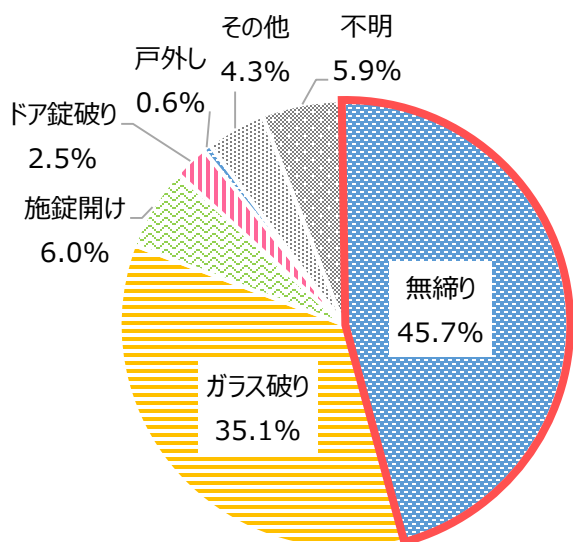
- ・「空き巣」・・・家人が留守にしている間に侵入するもの
- ・「忍込み」・・・夜間、家人の就寝時に侵入するもの
- ・「居あき」・・・家人が在宅中に気付かれずに侵入するもの

出典：警察庁「平成27年の犯罪（2016年）」より作成

「侵入窃盗」と聞くと、家人が出かけて留守にしている間に侵入して金品を盗む、いわゆる「空き巣」をイメージされる方が多いのではないのでしょうか。実際に、この「空き巣」は侵入窃盗の手口の中では最も多く、全体の約6割を占めています。一方、家人が在宅している間に侵入する「忍込み」・「居あき」といった手口も数多く発生しており、**在宅時の侵入窃盗は全体の約3割**にのぼっています。

「居あき」は、食事中や団らんなど、家族がひとつの部屋に集まっているときや、主婦が洗濯物を干しているときなどが狙われやすいと言われています。たとえ在宅中であっても、目の届かない箇所は必ず施錠を行う習慣をつけましょう。

住宅で発生した侵入窃盗の侵入方法別認知件数
(2015年)



**「無締まり」が
約半数を占めている**

住宅で発生した侵入窃盗の侵入方法は、鍵の閉め忘れである「無締まり（46%）」が最も多く、次いで「ガラス破り（35%）」となっています。ピッキングやサムターン回しなど、いわゆる「施錠開け」の手口は、対策されたドアや錠が増えたこともあり年々減少しており、6.0%にとどまりました。

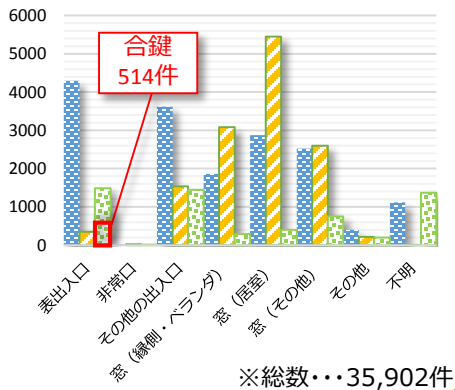
泥棒は、「カギをかけ忘れた窓はないか」、「周囲に気付かれずに破ることができる窓はないか」という視点から標的を物色すると言われています。また、ゴミ出しなど「少しの時間なら大丈夫」と油断して施錠しなかったことから侵入されたという事例も少なくありません。

泥棒から自宅と家族を守るには、「泥棒に見られているかもしれない」ということを念頭に置いて施錠を徹底するとともに、侵入経路になり得る窓があれば可能な限り死角を減らし、防犯フィルムや補助錠、警報ブザーなどの対策を施しましょう。

出典：警察庁「平成27年の犯罪（2016年）」より作成

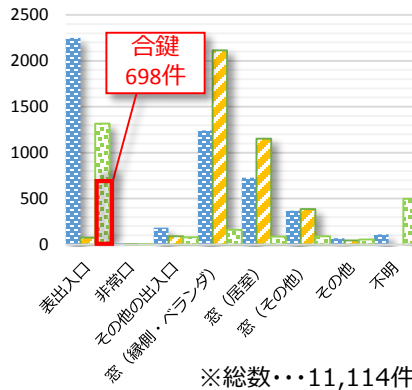
一戸建住宅

■ 無締り ■ ガラス破り ■ その他



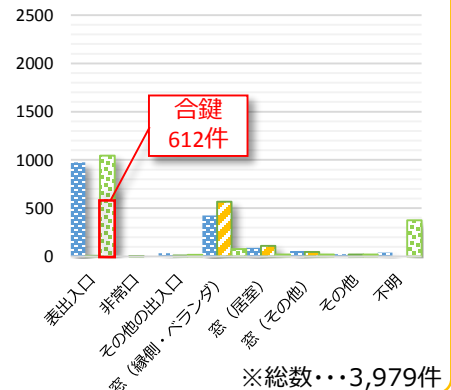
共同住宅（3階建以下）

■ 無締り ■ ガラス破り



共同住宅（4階建以上）

■ 無締り ■ ガラス破り ■ その他



出典：警察庁「平成27年の犯罪（2016年）」を基に作成

一概に「住宅」といっても、一戸建てから高層マンションまでその形態は様々で、それぞれ侵入口や侵入手段の傾向は大きく異なります。**一戸建住宅では、居室などの「窓」から「ガラス破り」で侵入する手口の割合が特に多く発生**しています。一方、**共同住宅では、一戸建住宅と比べて「無締り」の「表出入口」から侵入される手口の割合が高**くなっており、エントランスにオートロック扉があるからと油断して専有部の扉を施錠しない住人の隙が狙われていることがわかります。

さらに、**4階建以上の共用住宅になると、「無締り」の「窓（ベランダ）」から侵入する手口の割合が高**なっています。ここでは、「高層階のベランダから侵入されることはないだろう」と、施錠を疎かにしている住人が窃盗犯のターゲットになっていると考えられます。高層階を狙う窃盗犯は、屋上や非常階段などからベランダへ侵入し、ベランダ伝いに隣の住戸へ移動して、次々と犯行を繰り返します。多くのマンションのベランダは周囲から死角になっており、窃盗犯がガラス破りの作業を行うのに好都合な環境であることも被害を拡大する要因です。

マンション全体の防犯対策として、①屋上に簡単に立ち入れないようにする、②想定される窃盗犯の動線上に防犯カメラを設置する、③共用部からベランダに飛び移れそうな場所があれば忍び返しや有刺鉄線を設置する、といった対策が効果的でしょう。各住居のベランダに面した窓の施錠を徹底することはもちろん、補助錠や防犯フィルム、窓が開くと鳴動する警報ブザーを設置することで、窃盗犯が簡単に侵入できない環境作りをすることをおすすめします。

2016年9月、愛媛県でマンション管理人を装った男が住人の女性に鍵を見せるように求め、鍵に刻印された番号を記録したうえでインターネットで合鍵を注文、入手した上で居室に侵入したとして逮捕される事件がありました。この事件が鍵や鍵番号の取扱いについて考えるきっかけになったという方も多いのではないのでしょうか。

侵入犯が鍵を入手した経緯は定かではないものの、**住宅に「合鍵」を使って「表出入口」から侵入する手口の侵入窃盗の認知件数は、年間約1,700件**にのぼります。鍵は貴重品として厳重に管理することはもちろん、住所が分かるものと一緒には持ち歩かず、鍵番号が他人から見えないようにしておきましょう。また、賃貸住宅や中古住宅など、過去に出入りしていた人がいる住宅は、必ず鍵を交換していることを確認し、後付け可能な補助錠などを設置してとよいでしょう。

マンション全体の防犯対策の基本：

- ① 屋上に簡単に立ち入れないようにする
- ② 想定される窃盗犯の動線上に防犯カメラを設置する
- ③ 共用部からベランダに飛び移れそうな場所には忍び返しや有刺鉄線を設置する

自宅の防犯対策の基本：

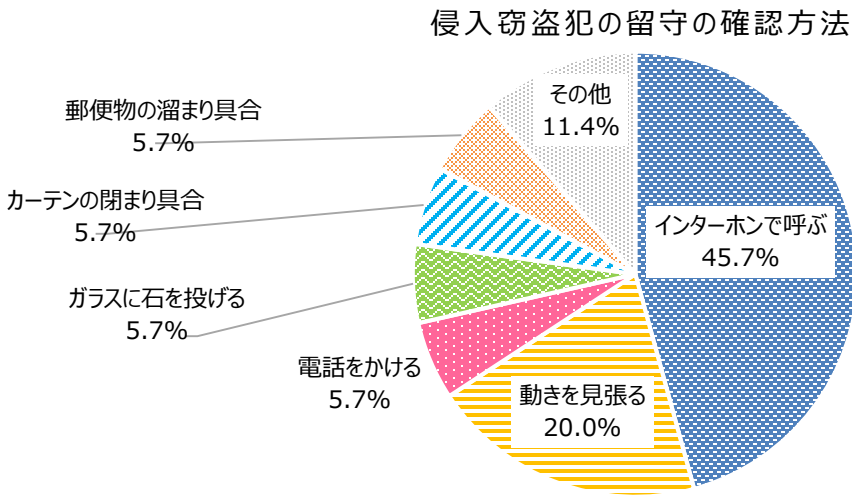
- ① 窓と扉は必ず施錠する
- ② 補助錠や防犯フィルム、警報ブザーなどで侵入しにくい環境を作る
- ③ 住所が分かるものと鍵を一緒に持ち歩かない
- ④ 鍵番号は他人から見られないようにする
- ⑤ 賃貸住宅や中古住宅は、鍵が交換されていることを確認し、補助錠を設置する

空き巣が標的にする家の3条件

- 1. 長期間、留守にしている可能性が高い家
- 2. 手間をかけずに侵入できる家
- 3. 周囲に気付かれずに侵入できる家

1 長期間、留守にしている可能性が高い家

空き巣に「留守にしている」と確信を持たれてしまうような家は、標的になりやすい家といえます。以下に挙げる点が留守かどうかの判断材料にされるといわれていますので、**不在を悟られないような対策を講じておきましょう。**



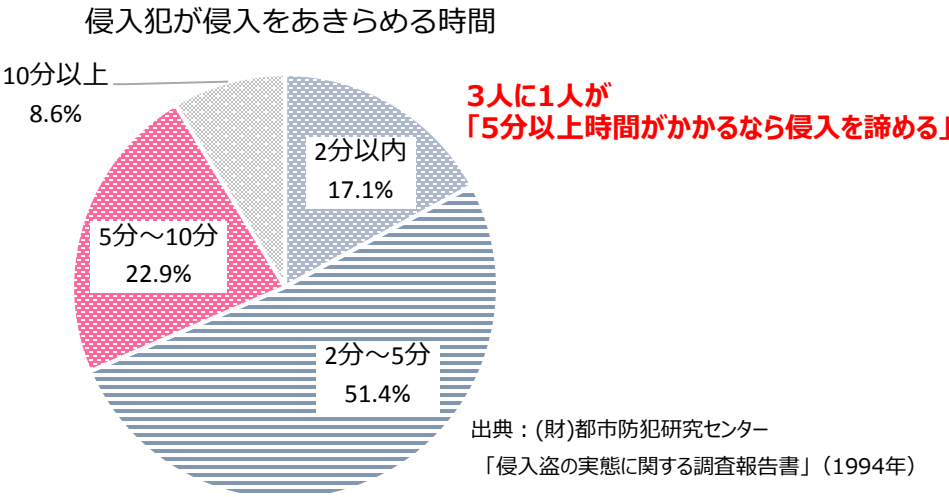
出典：(財)都市防犯研究センター「侵入盗の実態に関する調査報告書」(1994年)

空き巣が標的にする家の3条件

2 手間をかけずに侵入できる家

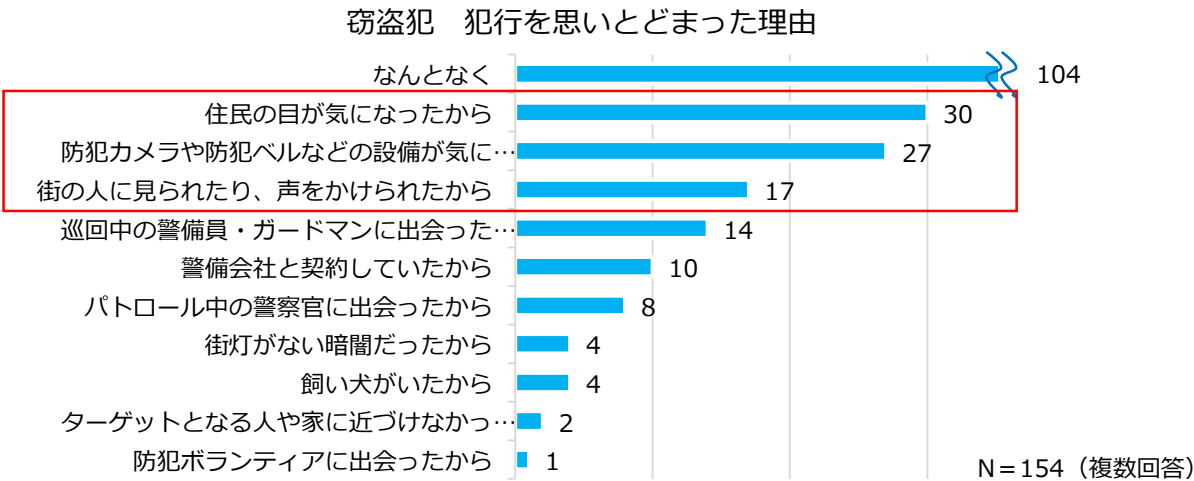
空き巣が家に侵入するためにはまずその経路を作らなければいけません。侵入経路作りに時間がかかると通行人に目撃されたり家人が帰ってくるリスクが高まるので、空き巣犯は短時間で侵入できそうな家に目をつけます。

元・空き巣を対象とした調査では、3人に1人が「5分以上時間がかかるなら侵入を諦める」と答えていることから、**侵入に手間がかかりそうな家だと思わせることが対策のポイント**になります。**短時間の外出であっても、対策するように心がけましょう。**



3 周囲に気付かれずに侵入できる家

元・窃盗犯が犯行を思いとどまった理由の統計を見ると、犯行中に周囲に気付かれてしまうことを恐れる空き巣は多いようです。**「この家に入ると周りに気付かれてしまいそうだ」と思わせるような対策をとりましょう。**



出典：(社)日本都市計画学会 都市計画報告集No.8「犯罪者の視点から見た防犯環境設定の有効性の検討—全国の被収容者を対象とした質問紙調査報告—」(調査2008年、発表2009年)

留守を悟られないための4つの対策

ゴールデンウィークは、過ごしやすい季節であることから、旅行だけでなく、レジャー施設などに1日ばかりで外出する機会も多いと思います。カギをかけることはもちろん、短時間の外出だからといって油断することなく、きちんと防犯対策をするようにしましょう。

誰も電話に出ないのはNG! 可能であれば、携帯電話に転送する

空き巣犯が標的の電話番号を知っている場合、電話をかけることで留守かどうかを判断することがあります。最近では携帯電話に自動転送できる電話が増えているので、可能であれば**携帯電話に転送する**と安心です。

留守番電話のアナウンスでも、「〇日まで留守にしています」というような内容はやめましょう。例えば、普段から「迷惑電話対策のため、最初にお名前とご用件を伺っています」「不審な電話は警察に通報します」というアナウンスにしておけば、留守だと確信を持たれない上に、「声」という証拠を残したくないと考える相手からの迷惑電話や詐欺電話を撃退する効果も見込めます。



郵便受けに配達物を放置せず、配達を一時停止する

郵便受けにある配達物が取り込まれていない状態から、家に入出入りする人がいないということ知られてしまいます。何日間か留守にする場合は、**新聞は販売店に配達を止めるように、郵便物も郵便局に不在届を提出して配達されないようにしておく**とよいでしょう。

外からは留守と分からない工夫を!

タイマーでON/OFF設定ができる照明器具などがあれば、夜間に電源が入るように設定しておくと安心です。タイマー機能がついてない場合は、ホームセンターで1,000円程度で販売されているコンセント設置型の電源タイマーを使ってスタンド灯などを点灯させる方法もあります。昼間なのに雨戸やカーテンが閉まっていると、留守ではないかと勘ぐられてしまうので、**補助錠や防犯フィルムなど、窓の防犯対策をすうえで、レースのカーテンのみを閉める**など、普段通りの生活と変わらなく見える工夫をするようにしましょう。**タイマー設定やスマートフォンで、外出先からでもカーテンの開閉ができるグッズ（数千円程度）を活用する**のもよいでしょう。

また、数日間同じ洗濯物を干しっぱなしにしている家は、留守にしていると言っているようなもの。**何日間か家を留守にする際は、洗濯物は部屋干しする**ようにしましょう。

留守にすることが分かる行動を避ける SNS投稿は帰宅後に

住人の動きを見張ることで留守を見抜くという窃盗犯も多いようです。もし、キャリーバッグなど大きな荷物を持って出かけていくところを見られてしまうと、これから長期間留守にすると確信を持たれてしまうでしょう。可能であれば、**大きな荷物は宅配便などで予め目的地に送っておく**ことをおすすめします。**出かける際には家に誰もいなくても「行ってきます」と声をかける**ようにするとよいでしょう。



また、**外出時は、家を留守にしていることが分かる投稿は避け、旅行などの仲間に知らせたい報告は、帰宅後に投稿することをおすすめします**。イギリスで行われた元・空き巣犯へのアンケート調査では、約8割が「ターゲットを特定する際にSNSを使う」と回答しました。例えば、「〇日まで家族旅行中」と投稿すると、過去の投稿など様々な手がかりの中から投稿者の住所を特定した空き巣の標的にされるおそれがあります。



空き巣に狙われにくい家にする3つのポイント

空き巣の標的にならないためには、家庭だけでなく地域一体となって空き巣犯が犯行をしにくい環境を作ることが重要です。

① 周囲から見えにくい場所をなくす

空き巣の多くは窓を破って侵入することを企てるので、周囲の目を気にせずに作業ができる窓があればそこは格好の侵入口となります。**侵入経路になりそうな場所は、可能な限り見通しをよくしておくことが大切です。庭の植栽などが視界を遮っているようなら、枝を切る**などして見通しをよくしておくといでしょう。

集合住宅では上階の住居ほどベランダが無防備になりがちですが、一戸建てにおいても上階の窓のほうが防犯対策が手薄になる傾向があります。ベランダに登れば路上からは死角になるので、周囲に気付かれずにガラス破りの作業を行うことができます。上階の窓を狙いたい空き巣にとって、足場がある状態はまさに「**渡りに船**」。**上階に登るための足場となり得る物は庭に置かない**ようにし、エアコン室外機や近隣の電柱などの、**どうしても移動できないものがある場合は、忍び返しを設置する**などの対策をとりましょう。

■ 人目に付きにくい場所には防犯カメラを設置

周囲から見えにくい場所ほどリスクが高いといえますが、そのような場所を第三者の目で自然に監視してもらえる環境に変えるというのは、なかなか難しいものです。そんな**人目につきにくい場所で人の目の代わりに活躍するのが、「防犯カメラ」**です。近年では家庭向けのリーズナブルな機種や、ネットワークを使って遠隔地から、スマホでライブ映像を確認したり通話することができる機能を持った機種も増えています。

■ 音と光で発見しやすくする

ガラスやドアを破壊する際にはそれなりの音が発生するので、その音をかき消してくれる電車や大型車両が近くを通過するような立地の家は空き巣の標的になりやすいといわれます。

こういった場所にお住まいの方は、犯行に及んだ際に大きな音が鳴り周囲に異常を知らせることができる対策が有効と考えられます。具体的には、**踏むと大きな音の出る防犯砂利を庭に敷いたり、窓ガラスに衝撃が加わるとブザーが鳴動する装置を設置しておく**ことなどが挙げられます。**夜間の防犯対策には、音や動く物体を感知して点灯するセンサーライトも有効**でしょう。



② 犯行の証拠が残るようにする

前述した「侵入窃盗犯の留守の確認方法」で最も多かったのが、インターホンを押して呼んでみるという方法です。これに対して在宅を装うことは難しいので、いかにしてインターホンを押させないようにするかを考えましょう。**犯人は証拠を残すことを嫌うので、録画機能付きのインターホンを設置するのがおすすめ**です。さらに、ボタン付近に「録画中」といったことを書いておけば、安易に押せなくなるでしょう。玄関以外にも、**侵入経路となりうる場所には防犯カメラを設置しておく**といでしょう。



③ 防犯意識の高い地域であると感じさせる

「窃盗犯が犯行を思いとどまった理由」として、「住民の目が気になった」、「街の人に見られたり声をかけられた」から犯行を思いとどまったという意見が上位にありました。犯行の未然防止を図る上で「**地域住民の防犯意識の高さ**」は**重要な要素**であるといえるでしょう。住民同士のコミュニケーションや、防犯意識をお互いに高める行動が重要といえます。

地域住民の防犯意識の高さが感じられるOK行動

- ◎ あいさつが活発に行われている
- ◎ 各住居に共通の植栽や外灯などが置いてある
- ◎ 「みなさんの通報のおかげで〇〇犯が逮捕できました」という様な掲示物がある

「いざというときにALSOKに駆けつけてほしい」という方におすすめのサービス

【ALSOKホームセキュリティ】

空き巣対策に最も高い効果を発揮するサービスといえば、「ホームセキュリティ」でしょう。自宅に各種センサーを設置することで、ALSOKが24時間365日、お客様に代わって自宅を見守ります。何かトラブルがあってもすぐにALSOKのガードマンが駆けつけて対処、報告してくれるので安心です。

値段も月々3,500円（税別）からとお手ごろな設定になっています。



ホームセキュリティBasic

マンションや戸建てなど、日本の一般家庭に最適な、万能型のセキュリティシステム。



HOME ALSOK プリミウム Premium

二世帯、店舗や事務所併用住宅などの大型住宅にも対応し、高度なセキュリティシステムを搭載した進化型

詳しくは <http://www.alsok.co.jp/person/homealsok/>

外出先からスマホで映像を確認できる 家庭用防犯カメラ

【Viewla IPC-06HD（屋内用）】



接続から視聴まで、数分もあれば誰でも簡単に設置できるのが特徴のIP防犯カメラです。手軽でありながら100万画素の高画質で、暗所撮影や相互通話機能など多彩な機能を備えています。

詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=1561294

【Viewla IPC-16W（屋外用）】



IP66の防水防塵性能を持っており、風雨にさらされる玄関・駐車場・建築現場などの屋外でも安心して設置できます。こちらも100万画素の高画質で撮影が可能で、暗闇での撮影にも対応しています。

詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=1591534

空き巣に侵入をあきらめさせる 窓際の防犯対策におすすめの商品

【防犯補助錠 ALSOKロック】「ALSOKの防犯・防災グッズ通販ショップ」人気No. 1 商品です

引戸式のアルミサッシ窓の内側ガラス面に直接粘着シールで貼り付けるだけで簡単に設置できる補助錠です。

外部からは、補助錠の接着面に印刷された「ALSOKマーク」が見え、犯罪抑止が期待できます。

詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=1559634

※賃貸物件に取り付けを希望の際は、事前にオーナー様、もしくは管理会社様へご確認願います。



【防犯砂利「ALSOK音砂利」】

庭に敷いておくだけの、お手軽防犯対策です。侵入者が音砂利を踏みつけると、約80dBの大きな音を発します。

詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=1561254

